



ASSOCIATION OF



No.12

発行 (財)東京都スキー連盟

〒102 千代田区麹町4-5

第6 麹町ビル 551号

TEL (262) 2491 (代)

発行日 昭和58年 9月16日

編集 S A T編集委員会

印刷 エース工芸株式会社

第12回インタースキー抄報

国際スキー教育連盟 理事 菅 秀 文

4年に一度、世界のスキー指導者を一堂に会して開催されるインタースキーとは国際スキー教育連盟（IASI・1965年SAJ加盟）が主催する国際スキー指導者会議のことであり、規約に、

- ◎各国を代表する連盟から代表者が共にスキー指導の発展を計るため友情の精神で会合する。
- ◎技術・指導法。組織等情報の交換。
- ◎各種研究の報告、作業、映画等の交換。
- ◎統括会議と研究部会の組織。

となっていて、スキーに関する活動を総括している。また連盟には三つの専門部会（国際スキー指導者連盟部会・SAJ加盟。国際スキー職業教師連盟部会・SIA加盟。国際学校体育スキー部会・SAJ加盟）がそれぞれ専門的研究をしている。

さて、今大会は南チロルの峻嶺に囲れた人口1200の小さくも美しい村、セクステンで1月15日から22日、26ヶ国の参加を得て開催された。インタースキーは第7回バドガスタインまでの技術論の時代（バインシュピール対ローテーション）から第8回アスペンを契機に指導方法論へ移行し、更に研究を重ねて今日の合理的、単純化を狙った指導法に指向している。

主要国の発表

オーストリア＝シュピンゲンとその変化

スキー教程のより巾広く深い理解を求めたものであり、『次のターンの内スキーを踏みつけ、直後に外スキーへ荷重を移動すべく踏み蹴る』ことをシュピンゲンとして、大切なことは動作であり、種目の分類に関係なく、全てのターンはシュピンゲンによって生れる。この踏み蹴りによってスキー技術、指導の単純化を図っている。また、基本技術で上下動を採用したり、凸凹バーンや、深雪でピボットを活用したことも注目値することであった。デモンストレーションの美しさ、正確無比の技術に会場は大きな嘆声を上げたものである。

イタリア＝競技スキーへの展開、指導法

四つの動作（沈み込み、立ち上り、アンティシペーション、アンギュレーション）を基本に子供への指導法、専門的指導法、競技への展開へと導いていた。全てのスポーツの動きの基本は沈み込み、立ち上りであり、この上下動をスキーに活用すれば、他のスポーツと同じように簡単に説明することが可能として明白な理論づけをしたが、デモンストレーションはイタリア・スキー史を展開した如き印象を受けたものである。

アメリカ＝指導進展の簡略化

技術の重要性を確認した上で指導法を更に重要であるとし、デモンストレーションではスキー技術からポイントを外して実施指導におけるペア・トレーニングとか遊びの要素を取り入れた指導例を豊富に展開し、指導方法論に集中した強い説得力をもつものであった。また、レクチュアでは世界の論客アブラハムに心理学者が加わり、自然と心の調和をベースに心理学的な側面から独自の展開をした。この試みは最も期待のできる指導法の一つであろう。

日本＝生態学的スキー指導法

バランスは日常生活の動作において最も重要な要素であり、コントロールと密接な関係にある。

従来は種目の完成に指導の目的があったが、今後はバランスとコントロールをスキーの求める本質的トレーニングとして考え、スキー技術の本質的価値を実用性にあるとした。これは技術における様々な要求課題である普遍性、安定性、制御性を満たし、それらを集約統合した単純なシステムを狙いとされた。この考えから人間の基本動作である歩行＝交互操作こそ基本的ベースとした。V字形、平行、はさみ形を一つの交互運動という歩行のメカニズムを通して一本化した思考方法である。2年余に亘るSAJのテーマをレクチュア＝福岡で発表し、デモンストレーションで英語解説＝菅をうけて、独語＝ホピヒラー、伊語同時通訳＝フィン

クと万全の体制をとった。演技が進むにつれ場内は騒然となった。正確な演技とテーマ表現の確かさに対する驚嘆である。終了後の評価として『大胆かつ画期的な指導法』と『筋力的で不自然ではないか』等賛否両論である。かってオーストリアがウエーデルンを発表したときのような評価ではあった。果して日本のテーマが各国に理解され普遍性を持てるか少しの時間が必要であろう。いずれにせよ日本の発表は沈滞気味の本大会を大きく揺さぶるものとして評価を受けた。

スイス＝欠点の指摘とその矯正法

総花的テーマだった前回にピリオドをうち、新たな路線に踏み出したスイスの指導法は一貫して立ち上り抜重に終始した。ブルークから全身を使った大きな動作、軽いジャンプやアンティシペーションを多用し、ターンを自然に導く理解しやすいテーマであったが、ユニークさに欠けていた感じがした。

カナダ＝スキー運動とスキー動作

このテーマを外力と内力との相関関係において考え、遠心力、求心力、スキーなどの外力を如何に有郊にスキー運動に活用するかを研究し発表した。特に目新しいものではないが、これのみを取り上げて真正面から取り組んだ発表は初めてであろう。

西ドイツ＝上下運動の有効性

テーマ自体に新鮮さはなかったが、運動生理学的な分析を組み込んで注目を集めた。どんな有効な動作でもそれが過度になれば必ず弊害が出る。この観点から上下運動の有効性を考え、スキー指導上、オーバーな上下動作はどこまで有効で、どこまで許容されるかという指導上の大きな命題にとり組んだ西独の視点の新しさは評価されるであろう。

フランス＝乗り換えの操作

キリーやラクロアを加えたオープニングの華やかさに対し演技は堅実な指導法の展開であり、一部は日本に近い発想であった。上下動が少なく初中級指導ではバダール・モーションが導入されていて、先鋭的な要素

と発想が生かされていた。

以上主要国のテーマと発表にふれてみたが、特筆すべきことは数ヶ国＝日本、フランス、リヒテンシュタイン、イギリス、カナダ等がバイオ・メカニクス運動、加圧的要素を取り入れたことであった。但し、これらの国々に加圧的運動の見られたのはブルーク・シュテムまでであり、スキー技術志向の多様性に対応して加圧踏み込みを運動力学かつエコロジカルに解明したのは日本のみであり、クルッケンハウザー教授は『日本はすぐそこに見える未来を先取りした。今回の殆んどどの国は理解にやや抵抗を感じるだろう』と勇気付けてくれたものである。また、これからは単なるスキー技術論だけでなく、文化や風土からスキーを考えるグローバルな視点を要求されようし、何のためにスキーを

第12回インタースキー日本公式代表団

役職名	氏名	所属団体	役職名	氏名	所属団体
団長	長 伴 素彦	S.A.J.	副団長	大 谷 陽一	アモリス・ジュニア
副団長	菅 秀文	*		工 藤 雅昭	*
組織委員会	高 鳥 修	*		山 田 博 幸	*
	天 野 誠一	S.A.J.		宮 津 久 男	*
	杉 山 進	S.I.A.		石 川 憲 輝	S.I.A.
総 監 督	平 沢 文 雄	S.A.J.		宮 田 隆 史	*
総 務	宮 沢 一 英	*	合同デモンスト	吉 田 幸 一	S.A.J.
	土 岐 良 次	S.I.A.		星 野 正 晴	*
会 議 監 督	福 岡 孝 純	S.A.J.		細 野 博	*
コ ー ナ	黒 岩 達 介	S.I.A.		藤 衣 敏 明	S.I.A.
	木 田 勝 久	S.A.J.		高 橋 力	*
	本 間 尚	*		児 玉 栄 一	*
会 議 担 当	吉 本 敏	*		小 川 俊 明	*
(学校スキー部会)	北 河 茂	*	視察団団長	松 浦 益 司 郎	S.A.J.
	東 和 夫	*	視察団団長	金 井 英 一 郎	*
会 議 担 当	佐 藤 隆	*	視察団副団長	元 木 権 夫	*
総 務	高 村 雄 治	*	ハンディ委員	速 水 潔	S.A.J.
コ ー ナ	平 川 仁 彦	*		深 沢 定 美	H.S.A.J.
会 議 担 当	見 谷 昌 雄	S.I.A.		関 口 成	H.S.A.J.
	吉 田 智 士	*		高 野 孝 夫	S.A.J.
総 務	平 沢 尚 忠	*		小 助 川 瑞 雄	*
会 議 通 訳	黒 石 と し 子	*		松 田 正 義	*
	関 口 邦 彦	S.A.J.		渡 辺 茂	*
	鈴 本 日 出 子	*		片 田 忠 夫	*
	岸 志	*		藤 本 進	*
	岩 間 智 子	*		片 岡 春 夫	*
予 選 予 備 会 長	相 田 芳 男	デモンスト		安 藤 雅 晴	*
予 選 予 備 会 副 長	佐 藤 正 人	*	伴 道 子		*
	佐 藤 正 人	*			

MY SKI, MY OGASAKA.



それが上達への早道だ。

するのとか云う問題に迫ることになり、指導者の指導者としての自覚と研究姿勢が問われる時代となろう。

役員選出報告

国際スキー連盟

会長＝オーダーマツト（スイス）、ホピラー（オーストリア）
副会長＝ホピラー。ウンガー（西独）＝取り下げ。理事＝定数7名、立候補10名。投票権国23国。
ランドパーク（米）、菅、各23票、ユードル（カ）22、フィンク（伊）、シュバリエ（仏）21。ユールトラ（ノ）16。ゼーダーホーン（スエ）14。監事＝ガルシャク（チエ）、バルム（ノ

ル）、事務局長＝ビーナス（ス）、

三部会会長および日本関係理事

国際スキー指導者連盟部会

部会長＝クライスルマイヤー（西独）、福岡＝S A J（推薦）。国際スキー職業教師連盟部会。部会長＝ガーマー（ス）。杉山＝S I A。

国際学校体育スキー部会＝定数7名、立候補9名。投票権国13国、部会長＝ブラットマン（ス）13票、佐藤11票＝S A J。なお、三部会部会長は国際スキー教育連盟理事とする。

基礎スキー検定規程および基準の改定について

普及部長 井上 衛

現在の教程ができて2年を経過し、同時に改定された検定規程もいろいろな面から改定が必要になってきました。そこで、S. A. Jでは、改定の検討が始められ、一応の方向を7月3日の評議員会に報告されました。この案は8月下旬の教育本部会議で検討され、秋の評議員会で正式に決定されます。以下に述べますことは、現段階では検討中であり、このような方向に進んでいると御理解を頂きたいと思います。

改定の大きな理由の一つとしては、一般的にみて受検生の総合的な練習不足が目立ってきたことです。現行の検定種目の中には急斜面技術が1種目だけなので受検者側からみれば、当然検定種目のみの練習になるのは人情としては理解できますが、質的な向上を目指すならならぬ指導者としては、総合的な技術向上に努力しなければなりません。

第2は、前述と関連して急斜面技術の向上です。いろいろな検定を観察していると、全員ではないが、急斜面技術の力不足と、積極性の欠如がとくに目立ちます。これは、全国的な傾向であり、特定地域の現象ではありません。

第3は、国家検定教師制度との絡みで、教師の検定制度として、現在よりもさらに整合性を高度化し、他の競技団体における検定制度の模範とするためです。もちろん現在の検定制度が低いと言うことではありません。対象となるものによって、その整合性が変化するのとは当然であり、現代社会との整合性をより高めようと言うことです。

それでは、下記の表により改定されようとしている主な点を申し上げます。表のアンダーラインの部分で改定されたところです。

技能テスト

1. プライズテスト

1) クラウン・プライズ

パラレル、ウエーデルンの~~筋~~を削除し、ステップ・ターンは中斜面となりました。種目は制限滑降を追加して6種目になり、その合格ラインは、標準タイムの110%以内です。

2) テクニカル・プライズ

種目、斜面は現状のままで、制限滑降の合格ラ

ちよつとシェアレル。



12/10
スキー場
オープン

車山高原スキー場にNew typeの施設誕生。

レストラン、レンタル・レストルーム、バー・ハーレーを併せたレンタルカゴの冬オープン。その名もスカイシティ（Sky City）また、第9ハレルリフト（530m）の増設により、リフトは合計9基。マン・マン11基。車山高原のグレンテコンディションは上々。

中央自動車道全線開通により、東京・名古屋から3時間足らず。思いいたらもうグレンテ。

信州・ビーナスライン

車山高原

信州総合開発観光株式会社

〒391-03 長野県茅野市ビーナスライン車山高原 ☎0266-68-2220

インが標準タイムの120%以内となりました。

2. 級別テスト

1) 1級

シュテム・ターン削除し、ゲレンデシュブリングを追加、斜面は現状のままです。

2) 2級

シュテム・ターン(山開き)を追加して4種目に、総合滑降の斜面は、総合斜面となりました。

3) 3・4・5級は変更ありません。

基礎スキー検定 (基準も含む)

1. 指導員検定

1) 実技

(1) 指導種目 プルー・ボーゲン(踏出し系) プルークボーゲン(乗り移り系)、シュテム・ターン(山開き)、シュテムターン谷開き)、小まわりターン(ウェーデルン)の展開

(2) 実践種目 ステップ・ターン(中斜面)、パラレル・ターン(急斜面)、ウェーデルン(急斜面)、総合滑降(総合斜)、制限滑降(シングルポール30本土3)。

2) 理論等については現行とおりです。

3) 受検資格 前年度または前々年度のスキー大学を修了した者、もしくは加盟団体長の認めた公認スキー学校または所属団体等の実施する実技指導において16単位(1単位2時間)の指導実習を行い指導手帳によって証明された者。

4) 指導法

現地での指導法(実技)は削除され、3)で規定されました。したがってなくなったのではなく、申込の段階で終了していることです。

5) 制限滑降

標準タイムの130%が120%以内になりました。また、制限滑降の特別扱いを削除。

6) 判定基準

指導種目は、5種目中4種目が70%、実践種目は、制限滑降を含む5種目中4種目が合格点でなければなりません。

以上が現在検討されている主な内容です。冒頭申し上げた経過で正式決定されますので、多少の変更はもちろん、場合によっては、項目の変更もありうるということで御理解を御願います。しかし、この都連便りが皆さんのお手元に届く頃には、かなり固定されたものになっていることでしょう。

このほかに、公認検定員制度が新設される予定ですが素案の段階なので言及をさけないと思います。ただ正・準指導員の資格を取得しても、認定を受けなければ、級別テストの検定員にはなれないようです。

本来ならば、S. A. Jから文書が到着してから発表することですが、関係される方が多いと思い、案の段階ですが述べてみました。迷惑なことだと思われられる方もあることでしょう。普及部としても予算決定後の改定になりますので予算的に頭痛の種です。し

かし、上部機関の決定事項は遵守しなければいけない立場にあり、皆さんの御協力を得て、できるだけスムーズに運営できるよう努力いたしたいと考えています。

種目	ブルー	ブルー・ボーゲン	シュテム・ターン	パラレル	ウェーデルン	ステップ・ターン	総合滑降	制限滑降	ゲレンデシュブリング
1. 基礎テスト									
1. フロン・プライズ				◎	◎	◎	◎	◎	◎
2. テクニカル・プライズ				◎	◎	◎	◎	◎	
3. 級別テスト									
1級				◎	◎	◎	◎		◎
2級			◎	◎	◎		◎		
3級		◎	◎	◎					
4級		◎	◎						
5級	◎	◎							

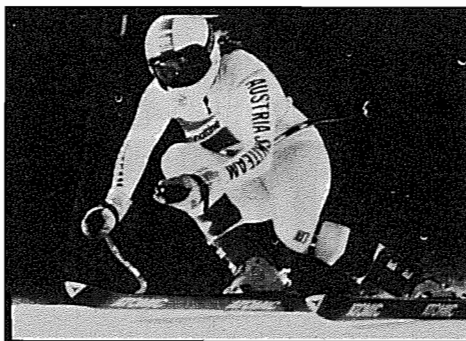
1) 実技

(1) 指導種目

- ◇ プルー・ボーゲン(踏出し系)
- ◇ プルーク・ボーゲン(乗り移り系)
- ◇ シュテム・ターン(山開き)
- ◇ シュテム・ターン(谷開き)
- ◇ 小まわりターン(ウェーデルン)の展開

(2) 実践種目

- ◇ ステップ・ターン(中斜面)
- ◇ パラレル・ターン(急斜面)
- ◇ ウェーデルン(急斜面)
- ◇ 総合滑降(自由) (総合斜面)
- ◇ 制限滑降(シングルポール20~30本)



時代の第1シード、
アトミック&ダハシュタイン。



ATOMIC
SKI DACHSTEIN.

株式会社アトミック

フリースタイルワールドカップに参加して

◇FISフリースタイルワールドカップ、サーキットへの遠征も、2回目となり、初回のような精神的な重圧はなく、加えて今年のチーム編成は、ベテラン組と初参加の横山、松本選手との調和がうまくとれ、前回に比べチームワークも良く、競技に恵んできた事が大変良かったと思います。都連より参加の3選手に、それぞれの種目について感想を、まとめてもらいました。スコーパーエでの天候が不順であった為に、エンゼルファイアで代替試合を含めて5日間に5試合を行うというハードなスケジュールでしたが、けがもなく選手諸君は、良くがんばったと思います。特に、パレーの松本君、エアリアル横山君の演技は、今後の勉強によっては、世界に伍するものがあると、ジャッジからも高い評価を得たことは、大きな収穫であったと思います。 (監督 小島 孝平)

◇世界のトップクラスの選手達と同じバーンで試合ができる、一緒に練習ができる。これが、フリースタイルを始めた時からの夢だった。自分のパレー(私はパレーのスペシャリストなので)は世界にどの程度、通用するのかを、自分自身でたしかめたかった。

大会前日にもなると、各国選手が練習バーンにやってくる。技術的にも演技的にも自分よりも上である。

まして、自分自身、調子が悪いと他の国の選手と練習するのも恥ずかしくなる時もあったけど、一週間、2週間の練習では、変わりようがないと思い、今の自分の力を100%出せるような練習をした方がいいと思い、世界のレベルに追いつくような練習は、日本に帰ってからだと思った。

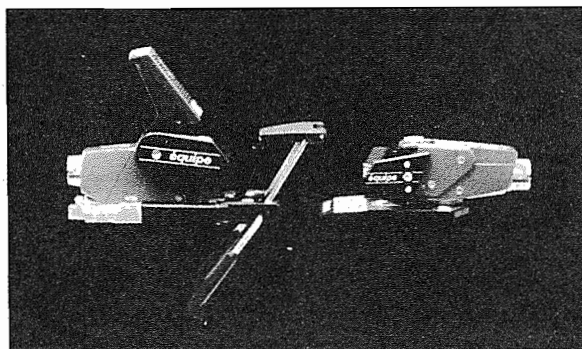
今は、ワールドカップ上位を目標に、悪くても全日本1位ということで頑張っています。

(松本 和俊 フリーSC)

◇私達がエントリーしたワールドカップサーキットは最終戦であり、ヨーロッパで転戦して弱い選手は振り落とされ、各国とも強豪選手をアメリカに送って来たという印象が強かった。モーグルは他の種目の倍のエントリーがあり、1番層の厚い種目である。コースは日本より急斜面で3月なのでアイスパーンになっていた。各国の選手ともだいたい滑り込んでいるので安定した滑りをしていし、バランスをくずしてもリカバリーがうまくタイムも早い。アルペン出身者が殆んどで練習にポールを利用しているとのこと、日本もアルペン出身者をモーグルに起用してスペシャリストを養成すべきだと思う。今後ワールドカップに選手を派遣する場合は、総合男子1名、女子1名、あとは各種目のスペシャリストとし成績アップを計れば日本のフリースタイル向上にもなると思います。

(高橋 富幸 スカーゼSC)

◇世界の技術、レベルを実際に体験し、各国選手との交流という点でも非常に有意義であった。今回、得意種目である、エアリアルに関して書いてみたいが、当種目は、未だ、いくつかの問題をかかえており、アメリカで開催された今大会においても、USSAとFISとの間で相当の論議が交され、当種目の実施も危ぶまれたが、現在、フィンソップ(宙返り)系の技も再許可され、進歩的方向へと動いている。レベルについては、フルイン・トリプルアウト(2回転4回捻り)、フル・フル・フル(3回転3回捻り)等、高難度の技が高い完成度で展開され、トレーニング、施設、環境の裏付けを思慮出来る。我国も同等の施設が整備されれば、計算されたトレーニングカリキュラムの作成、実施により、すぐにでも世界のトップレベルに達する事が出来るものと信じる。(横山岳男、フリーSC)



世界のビンディング基準
サロモン。

SALOMON

サロモン・スポーツ販売株式会社

本社/〒103東京都中央区日本橋小伝馬町2-3 川島ビル ●大阪●札幌
☎03(669)0088 販促

'84 行事日程および事務手続き早見表

〒102

千代田区麹町4-5 第6麹町ビル551号

TEL 262-2491(代)

現金取扱：10時～3時（時間厳守）日、月休業

	行事および事項名	開催期日	開催場所	受付期間および〆切日	摘要(内)には参加予定人数
総務部	1 S A J・S A T 会員登録	S A J・S A T一般1,200、高校生900、中学生600、S A Tのみ600			58.10.1(土)～10.29(土)
	2 加盟団体負担金納入	30名～80名 30,000円、81名以上 10,000円			
	3 公認資格者年次登録	指・準・パト・競技関係5資格まで1,000円、計時員500円、S A Tセッター1,000円			
	4 S A J 会員追加登録			58.12.15(木)～59.1.14(土)	
5 事務連絡担当者会議	58.9.17(土)	学習院	9.17(土)14:00～		
安全対策部	6 救急法講習会	58.9.23(祭)	青山学院	9.6(火)～9.17(土)	受講料 2,000(500)
	7 安全対策講習会 パトロール受検強化合宿	(理論、実技) 58.12.23(金)～24(土)	妙高パノラマ	12.1(木)～15(木)	受講料 4,000(25)
	8 安全対策担当者打合せ	58.10.15(土)	体協(予定)		(80)
	9 用具研究会	第1回 58.10.1(土) 第2回 58.10.15(土)	都連会議室 体協(予定)		(30)
10 日赤救急法講習会	58.9.10(土)、11(日)、15(土) 17(月)(5回)	国鉄新宿 保線区会議室	9.6(火)～9.9(金)	受講料 3,000(40)	
普及部	11 指導者養成講習会	(理論)58.10.16(日) (実技)59.1.20(金)～22(日) (〆) 1.27(金)～29(日)	明大和泉 志賀サンバレー 菅平	9.6(火)～9.30(金)	参加料 10,000(800) (400) (400)
	12 準指導員検定法	(理論)58.11.20(日) (実技)59.2.17(金)～19(日) (〆) 2.14(金)～26(日)	青山学院大学 志賀サンバレー 菅平	9.6(火)～9.30(金)	受検料 10,000(700) (350) (350)
	13 級別テスト共催頼並に	㊦報告書 (級別テスト、スキー学校、傷害事故報告書)		第1次 10.1(土)～20(木)	募集人員 共催料 50名まで4,000
	14 スキー学校申請書	終了後3週間以内、4月以降1週間以内(厳守) ※1級合格者……S A J 会員登録料納付		第2次 11.1(火)～22(火)	51名以上100名まで5,000 101名以上 6,000
強化部	15 指導員研修会	理論 58.12.17(土)～19(月) 実技 12.16(金)～18(日) 理論 59.3.23(金)～25(日) 実技 4.6(金)～8(日)	A、熊の湯 B、車山高原 C、車山高原 D、熊の湯	} 11.4(金)～11.19(土) } 2.28(火)～3.10(土)	参加料 2,500(700) 〆(800) 〆(300) 〆(300)
	16 基礎スキーテクニカルクラウン講習検定	59.3.23(金)～25(日)	車山高原	2.28(火)～3.10(土)	参加料 23,000(60)
	17 基礎スキーテクニカルブライスクラウンブライス検定会	59.4.7(土)～8(日)	熊の湯	3.13(火)～3.24(土)	検定料 4,000(50)
	18 東京都基礎スキー選手権兼全日本選考会 〆合宿 〆	59.2.4(土)～5(日) (A) 2.5(日)～6(月) (B) 3.2(金)～4(日)	小田急石打 〆 車山高原	1.6(金)～21(土) 〆	参加料 4,000(180) その他 5,200(20) (17)
強化部	19 都連セッター講習検定会	(理論)58.11.27(日) (実技)59.3.26(月)～27(火)	都連会議室 石打丸山	58.11.8(土)～19(土)	受検料 3,000(30)
	20 計時計算講習会	1、58.11.12(土) 2、11.19(土)	都連会議室	58.11.1(土)～10(木)	受講料 2,000(40)
	21 南関ブロックジュニアスキー大会兼全中東京都予選会	(ノルデック) 59.1.5(木)～7(土) (アルペン) 59.1.15(日)～16(月)	つばめ	58.11.15(土)～30(木)	参加料 1種目 2,000(360)
	22 全日本、国体予選 東京都選手権	(アルペン) 59.1.20(金)～22(日)	石打丸山	58.11.26(土)～12.15(木)	参加料 1種目 2,000(500)



六日町 スキリゾート

SKI-RESORT

楽しみだ '84シーズン

“スター高原ホテル” OPEN

ペアリフト新設

'84シーズン予定：'83.12.17～'84.4.8

(お問い合わせ) スキー&ホテル 02577(3) 3311・東京予約センター 03(366)1300



	行事および事項名	開催期日	開催場所	受付期間およびメ切日	摘要()内は参加予定人数	
強	23 南関ブロック合同予選会兼都選手権	(ノルデック) 1.21(土)~22(日)	尾瀬岩鞍	58.11.26(土)~12.10(土)	参加料 2,500(60)	
	24 美津濃杯東京都大回転競技会	予選レース 59.2.4(土) 決勝レース 2.5(日)	石打丸山	参加料一般 3,000(650) 高校生以下 2,000	参加料一般 3,000(650) 高校生以下 2,000	
	25 アシックス杯東京都スラローム競技会	男子成年1,2部59.2.18(土) その他の組 2.19(日)	浦佐	58.12.20(火)~59.1.14(土)	参加料一般 3,000(350) 高校生以下 2,000	
	26 東京都クラブ対抗競技会	(スラローム)59.3.3(土) (リレー) (クロスカントリー)4K,8K,3.4(日)	石打丸山 〃 〃	59.1.14(土)~1.31(火)	参加料一般 3,000(650) 高校生以下 2,000(70) リレー 4,000(10組)	
27 都民大会(区都市対抗)	(スラローム) 3.4(日)	石打丸山	都教委の指定する日	各区市教育委員会払込み		
化	28 南関ブロックジュニアオールドパワー選手権大会	59.3.17(土)~18(日)	六日町ミナミ	59.1.25(火)~2.10(金)	参加料1種目2,000(200) オールドパワー 1種目3,000(80)	
	29 オフ、トレーニング	58.10.11月8回各土曜 59.6月5回日夕刻	都体育館 屋外トラック他		参加料 1,000(50)	
	30 レーシングキャンプ強化合宿	R1.58.12.25(日)~30(金) R2.59.3.26(月)~30(金) R3.59.4.28(土)~5.5(土)	未定 石打丸山 八幡平	対象強化指定選手 およびT.J.Tメンバー に直接連絡	参加料 A 0(10) B 5,000(15) T.J.T 5,000(25)	
	31 ジュニア、ノルデック強化トレーニング	59.6.17(日) 7.22(日)	所沢		参加料 1,000(20)	
部	32 オフ、トレーニング	58.9/24(土),25(日),10/1(土) 10/2(日),8(土),5回	東京女子体大	58.9.6(火)~22(木)	参加料 5,000(30)	
	33 ジャッジトレーニング	58.10/30,11/6,13各(日)(3回)	都連会議室		12×3(36)	
	34 フリースタイル教室	A、59.1.7(土)~8(日) B、1.15(日)~16(月)	小田急石打	58.12.10(土)~12.24(土)	参加料 4,000(30) 4,000(30)	
	35 第3回東京都フリースタイルスキー選手権大会	59.2.17(金)~2.19(日)	小田急石打	59.1.10(金)~1.28(土)	参加料 1種目 2,000(180)	
	36 国際選抜フリースタイルスキー競技大会	59.3.2(金)~3.4(日)	小田急石打		(32)	
	37 オフ、トレーニング	59.7.8月中(5回)	ららぽーと	59.6.5(火)~30(土)	参加料 2,000(40)	
全 日 本 関 係	スキー大学 昭和59年2月9日(木)~12日(日)(乗鞍青年の家) 2月18日(土)~2月21日(火)(福島整楯)					
	指導員検定 申込期日 58.11.8(火)~26(土) 受検料 10,000円	第1会場 朝里川(北海道)..... 第2会場 二本松岳(東北)..... 第3会場 野沢(甲信越)..... 第4会場 白峰(東海北陸)..... 第5会場 大山(西日本).....	昭和59年3月1日(木)~3月4日(日) 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃			
	中央研修会(車山高原).....(ブロック技術員を含む)	昭和58年12月2日(金)~12月4日(日)				
	第62回全日本スキー選手権大会(ノルデック種目)(秋田).....	〃 59年1月23日(月)~1月27日(金)				
	第62回全日本スキー選手権大会(アルペン種目)(岩手雫石).....	〃 59年3月12日(月)~3月18日(日)				
	第39回国民体育大会夏季スキー大会(山形).....	〃 59年2月23日(木)~2月26日(日)				
	第21回全国中学生スキー大会(青森大鰐).....	〃 59年2月3日(金)~2月5日(日)				
	第5回全日本基礎スキー選手権大会(青森大鰐).....	〃 59年3月10日(土)~3月13日(火)				
	第3回全日本ジュニアオリンピックスキー選手権大会(片品村).....	〃 59年3月19日(日)~3月21日(火)				
	第4回全日本フリースタイルスキー選手権大会(野沢温泉).....	〃 59年4月1日(日)~4月3日(火)				
公 認 大 会	内外スキー大回転競技会	1.29(日)	上越国際	問合せ先 内外スキークラブ	TEL823-6236	
	石打大回転競技会	2.25(土),26(日)	石打丸山	東京スポーツマンクラブ	464-0155	
	WSC(若葉スキー)スラローム大会	3.11(日)	同上	若葉スキークラブ	718-9551	
	石打スラローム大会	3.25(日)	同上	東京スポーツマンクラブ	464-0155	
	アルペン複合苗場大会	3.31(土),4.1(日)	苗場国際	日本アルペンスキークラブ	534-1792	
加盟団体主管練習記録会 要項決定次第送付						



全世界のスキーツアーをクリエートする旅の専門店!!

先づお電話下さい。御相談に応じます。

- クラブ・グループ等の海外ツアーの企画。(個人でも参加可能)
- 航空券の格安手配。
- 世界中の旅行の手配。

スキーメイト会員を募集しています。

(会員の方には)

- 四季折々、海外スキー場のホットなニュースをお送りします。
- 当社主催ツアーについての割引優待。

(株) 東京航空サービス

ジョイトリップ スキーセンター

☎(03)988-6503(代表)

IATA(国際航空輸送協会)公認
JATA(全日本旅行協会)会員
運輸大臣登録一般旅行業第93号

〒170 東京都豊島区東池袋3-1-3
サンシャイン・ワールドインポートマート F5

名門クラブを訪ねて

東京都高等学校体育連盟スキー部 水落 八 郎 (副部長)

高体連スキー部の設立は昭和15年と古く、戦後新制高校発足を機として、24年設立者の松岡敬之先生(台東商高)が高校スキーの将来を卓見し、逸早く都連に加盟したのを嚆矢とする。(先生は都だけでなく、全国高校大会(26年第1回)、関東高校大会(31年第1回)の発起人でスキー界の大先達である。)

当初は六日町(八箇峠スキー場)や、石打での都民スキー大会高校の部に4~5校、20名程度の選手が初歩的な回転競技に参加する暢気なもので、全国大会等へも予選会を経ず、役員協議により選手を決めていた。初期の役員は松岡敬之(台東商業、前日本ソフトボール協会事務局長)山根茂(日大二、現日大教授)藤川侃二(台東商、現小笠原高校長)水落八郎(明治、明大兼任講師)等であり、選手諸君は中村晴夫(日本アルペンスキークラブ会長)森岡隆(東京スポーツマンクラブ役員)海野好彦(好日山荘、東京スポーツマンC.役員)等、女子では鈴木姉妹(立教女学院、日大二高)がインターハイで入賞し、妹のみみず、さんはプロスキーヤーとして活躍している。

高体連は揺籃期から青少年期になるとその活躍は目覚ましく、数々の記録を樹立しつつ、東京都の地位を全国のAブロックで不動のものとした。

また対内的には独力で漸く各競技会を運営した。即ち38年2月23日、第1回東京都高等学校スキー大会を新設の新潟県石打後楽園スキー場に於て、都教育委員会、都スキー連盟、読売新聞社、後楽園の後援で開催し、インターハイ予選も群馬との合同予選会から単独で志賀高原を会場として開催するに至った。(現在は新潟県の燕温泉スキー場)42年には群馬と図って十年振りに第2回関東大会を復活させ、またシーズンオフの行事として当時画期的施設を誇った読売ランドスキー場で第1回都高校エバースノースキー大会を都教委、読売・報知両新聞の後援を得てもらったが特に飛躍台を使用しての滑降レースは、スピード感覚の養成に多大の効果を齎らした。続いて44年1月には第4回関東高校スキー大会を燕会場で主管(飛躍、複合競技も実施)して競技運営能力とその実力を大いに発揚した。その頃の役員には尾崎明雄(台東商、海浜、東大卒の異色)

黒岩神市(東京工業)高橋克俊(故、芝高)笹山清(元竹早高)中野偉夫(武工大付、現静岡大教授)伊藤清一(開成)近藤昭雄(麻布)岩崎三樹(荏原)藤森茂(京華商教頭)中村邦光(日大鶴ヶ丘、現日大教授)酒井繁(玉川学園、現玉大助教授)相馬公義(学習院)松村俊三郎(富士見、現日本体操協会、新体操委員長)等の諸氏が顔を連ね、その中でも酒井繁氏は選手の育成に顕著な実績を残し、相馬公義氏は十数年に及ぶ事務局の長として、都高体連スキー部の地盤を固めた功勞者である。選手には11回小千谷大会で男子初入賞(大回転5位)を果した小林一夫(明治、日光釜屋ホテル)インハイ、国体で活躍した児玉英二(玉川、志賀丸池ホテル)15回の花輪で史上3人目、都で初のアルペン二冠の中原浩一(聖橋、越後湯沢出身)18回水上の回転、及び第4回関東大会二冠の春原登志男(玉川、法坂グリーンホテル)13回大会距離2位の小川弘(日大桜ヶ丘、新潟新井出身)女子では初の回転3連覇(含2冠1)の名選手猪谷素子(成蹊、千春氏の姪)関東大会の覇者として鈴木真理(日大鶴ヶ丘、4回の回転)服部まゆみ(日大二、5回の回転)等が活躍し、他に岡沢伸夫(明大中野、フランス派プロ)立川雅則、若松昌弘(共に明治、都連役員)……等は今も健在であり、東京高体連の黄金時代を築きあげた。

40年代の後半以降は特に傑出した選手は見られず関東大会を制した者は坂井真由美(豊島、7回の回転)碓井宏子(藤村、9回の大回転)吉田進(東京工、12回の2冠)16回では鴻田ゆう(慶応、大回転)長谷川崇子(聖心、回転)佐々木信(国士館、回転)リレーでは11・12回の科学技術学園チーム等あるが全国大会では蛭田みゆき(日大二、回転)以外に入賞者は無く、低迷を続けている。

蓋し、発足当時数校、数十名であった高体連スキー部も今では高校スキーの統括団体として、関係各位の献身的盡力により、組織、内容共に発展、充実を遂げ約70校、800名近い規模になっている。当面の課題としては、学校教育と社会体育の調整、融和を図り、三学期に集中している諸行事にうまく対処し、より良い勉強とスポーツの両立を期すべく関係者一同、懸命の努力を傾注することであろう。

The logo for LANGE features a large, stylized number '4' above the word 'LANGE' in a bold, blocky, sans-serif font. The 'L' and 'A' are particularly prominent.

ラング ファーイースト株式会社
〒101 東京都千代田区神田錦町3丁目13番
旺巧ビル
TEL (03)233-4041(代表)

浦佐スキー場



上越新幹線浦佐駅の南西に位置する浦佐スキー場。正面ゲレンデ中央に5基のリフトが並列に設置され、この利用で500mから1,200mまでの多彩なコースを滑走することができます。

越後三山から谷川連峰までみわたせる山頂一帯は高原状の地形をなし、初心者や御家族連れが安心して滑れるスペースになっています。正面リフトの右側は平均斜度22度の本格的なダイナミックコース、左側に滑り出すコースは緩斜面、中斜面を含む迂回コースで、初中級者に好評です。

《 テクニックはスキーの楽しさを倍増する。 《
《 スキーの学び方は浦佐流がいい。 《

スキーの楽しみ方は多様ですが、スキーの本当のおもしろさは基礎技術をしっかり身につけることによつて味わえるものです。浦佐スキー場は、この基礎技術の練習に最適な環境をもっています。多様な練習適地を活かして、初歩からエキスパートに至るまで、効果的に練習を進めることができる、これが浦佐の特色です。練習に適した斜面が機能的にレイアウトされていて段階的に状況を変えて移動練習ができることは大きな効果につながります。練習のプログラムを提供するのは浦佐スキー学校です。浦佐スキー学校では、1単位2時間の常設レッスンから、3日間、そして6日間のコースレッスンまで沢山の企画をそろえています。目標別にきめこまかいレッスンを受けることができます。

浦佐スキー学校の役割は、指導活動だけではありません。もうひとつの役割はゲレンデの管理です。地形と雪を知りつくしたベテラン教師によって、常にゲレンデをベストコンディションに保ちます。このようにス

キー場の管理体制のなかにスキー学校が組みこまれているシステムが浦佐の特長です。浦佐はスキーの練習の場として、また、健全なファミリースキーの場として、最適な環境を提供いたします。

○'84シーズン浦佐スキー学校の定期講習会

■特別講習会 3日間 - 6単位

伝統の短期集中実力養成講習です。'84シーズンから対象を初心者にまで広げて上達のための徹底レッスンを行います。カリキュラムは初・中・上級それぞれに適した内容で、実践力の養成を目標にします。スキー運動のすべてを系統だったシステムで体得する3日間の特訓コースです。

●会費：¥23,000

●スケジュール

1月8日から4月4日まで、毎週月、火、水、及び木、金、土、の3日間(但し3/15~3/17をのぞく)

■長期特別コース 6日間 - 12単位

初級から上級まであらゆるスキーヤーを対象に、6日間で基礎から応用実践までのプログラムを反復します。このコースのメインはショートリズムによるスキー運動から、いろいろな応用技術へアプローチすることです。まずウェデルンのリズムを学び、そこから応用実践へと発展します。

●会費：¥42,000

●スケジュール

1月8日から3月24日まで、毎週月曜日から土曜日までの6日間(但し1/30~2/4をのぞく)

詳しくは 〒949-73 新潟県南魚沼郡大和町浦佐

浦佐スキー場管理本部まで

T E L 02577(7)3107(代)

日本の代表的なスキー学校と
昔ながらの雪国のおもてなし



新幹線が停車。ますます近くなる
浦佐スキー場

とま うらさ
新幹線が停^{とま}ったって宿のおやじはかわらないよ

浦佐スキー場管理本部 ■〒949-73 新潟県南魚沼郡大和町浦佐 T E L 大和(02577)7-3107(代)

都連賛助会員（団体）の紹介

株式会社 スキージャーナル

(株)スキージャーナルは、その社名からも、うかがえる通り、スキーを中心とした出版活動をして参りました。スキーの技術、用具、ウェア、スキー場、スキー人組織、業界などを広く、かつ深く情報をつきつめ、月刊雑誌を発行することになったのが17年前でした。

世界で初のスキーの月刊雑誌とあって、内外から大いに疑問視されたものでした。たしかに滑り出しの当初、月刊スキージャーナルは、その存在を知られる迄の間、苦しい時期を過ごしました。しかし地味ながらもまじめにスキーに取りくむジャーナリズムとしての姿勢は徐々に評価され、間もなく、(財)全日本スキー連盟の著書「日本スキー教程」を初めとして多数発行することにもなりました。雑誌と単行本のそれぞれの特徴を生かした総合的で良質なスキー情報を広く多角的にスキー読者のためにお届けする事が可能になりました。

四季の区別なく一年中を通して、スキーヤーのための月刊誌発行という一大冒険の果てに、多くのまじめなスキーヤーの暖かい応援によって、現在スキー図書出版の世界では日本一の評価を得させて貰っています。

このようにスキー雑誌を発行するに当たって、投入した大きな情熱とまじめな姿勢をもってすれば、どのようなジャンルのスポーツでも真に求められている雑誌を造りだすことができるであろうと、まず「月刊雑誌剣道日本」を、創刊しました。質実剛健を旨とする武道の世界のこと、商売的に見た雑誌の成功はおぼつかないのではないかとの見方の中で、剣道界及び読者から熱く支援されて現在は定着しス界の識者及び多くの読者を得ています。

また近くは、テニスジャーナル誌の創刊があります。多くの先発既刊のテニスの雑誌、単行本の中で、新しく発行されるテニスジャーナルはどのような存在理由を持ち得るか。これまた疑問の多かった点でした。

しかしスキージャーナルはどのような読者に支えられてここ迄歩いてこられたかを考えれば、テニスについても自動的に答えの得る事でした。単なるブームや流行にあわせてのテニスプレイ層にではなく、自分の生活の一部としてテニスをとらえ、考え、向上しようとする層。これこそが、テニスジャーナルの真の理解者であり、これからの日本のテニス界を底で支えていく質の層であると考えました。業界、専門家筋からも大きな賛同を得て、現在「テニスジャーナル」も発展の最中であります。

スポーツジャンルの一般化の波も大きくなって、あらゆるスポーツを行なう層が増え、それも一つだけでなく、季節や場に合わせた多角的にスポーツを楽しむ層が増えてきました。この傾向はこれからも益々進みそれぞれに適したスポーツ情報が求められる事でしょう。正しい意味でのマニア、常に自己向上のために努力するプレーヤー、ス界発展に努力する専門家、業界の人々に多くの側面で役に立つ専門雑誌として、成立させていく事。いたづらに大量主義でなく、少量でも確実でまじめな、本格派プレイヤーや読者にとって必要な雑誌、書物を出版するスポーツ出版社。そうあり続ける事が小社の存在理由だと考えています。

ヤル気だけでは
モノにできない!



全面改訂!

スキーと安全 —けがを防ごう
(財)全日本スキー連盟編 定価1600円千300

規程改訂!

日本スキー教程
(財)全日本スキー連盟編著 定価1600円千300

<映画>日本スキー教程 —実技編を中心に、基礎課程から実践滑降まで!
カラー光学フィルム(30分) 8ミリ=80,000円/16ミリ=190,000円/VTR=35,000円

〒102 東京都千代田区九段南2-4-10 ☎03(263)3421 振替東京0-33504 (株)スキージャーナル

都連賛助会員（団体）の紹介

DESCENTE

(株)デサント東京販売促進課 石丸

昭和10年2月、現在のデサントの前身である「石本商店」が創業され、昭和36年に社名とブランド統一の為、「株式会社デサント」に社名変更となりました。以来、スポーツウェアの製造販売を主たる目的として、昭和55年3月には東京証券取引所第一部に上場を果たしました。デサントというとウェア類だけでなく、スポーツ器具を扱っていると勘違いされる方も時折いらっしゃいますが、皆さんがよく御存知のデサントスキーウェアを初め、各種目のデサントブランド・マンシングウェア、アディダス、アリーナ、フィラ、チェルッティ、クレージュスポーツ、HCC、ベドベ等のブランドを展開する、スポーツウェアの会社であります。現在、海外では、香港、フランス、アメリカ、ドイツに進出し各地にデサントを設立しています。又国内では、大阪本社、東京支店を初め各地に13の営業所その他出張所、工場がちらばっています。ウェアは勝つための要素のひとつであるという信念に基き、トッププレイヤーが着用するにふさわしいウェアを製作、開発し、それを市場に結びつけていくというデサントの頂上作戦は、前述した各デサントの根底と流れるのみだけでなく、今ではスポーツ業界の一つのイデオロギーとして通用するまでに至っています。スキーウェアの特にDHワンピースに関しては、世界のトッププレイヤーからも魔法のワンピースとまでいわれるものとなりました。又、この頂上作戦こそが創業当時から貫かれた弊社の方針であり、デサントをここまで育てあげた原動力といえましょう。今、世界的には勿論、日本においても1億総スポーツの時代と言われるほどスポーツが盛んになっており、スポーツ産業は成長産業などといわれます。その背景には、健康問題に対する意

識の変化、スポーツの多様化、スポーツに対する社会的認識の変化、国や企業の「スポーツ振興」政策、週休2日制等による余暇の増大等の社会情勢の変化などが要因となる、スポーツ人口の増加ということがあるといえます。こういった時代の流れを素速くつかみ、先見的な眼を持つということが、デサントがスポーツウェア業界でトップを保っていく最大の武器であると思っています。又デサントがウェアを製造・販売するその過程には、厳しい素材開発研究、品質管理や、大学・各種学会・研究会・各種団体との情報交換による技術レベルの向上などにつとめる研究所等のシステムもあります。

このようにデサントではスポーツというものをあらゆる角度からとらえ、研究しながらウェアの製作販売を行っているわけです。また前述した頂上作戦の一環として、スポーツ選手を社員として採用し育成しています。現在、スキー・陸上・テニス・シンクロと計9名の選手がおり、特にスキーでは現在全日本ナショナルチームに所属している沢田敦、大高弘昭、千葉信哉佐藤謙の4選手が活躍しています。勤務地の関係上、昨シーズンよりSATに所属させて頂いておりますのは大高選手1人ですが、さきの草津国体では成年男子1部5位となりました。最後になりますが、デサントには総勢約40名のスキー部があり、先シーズンより都連に復活させて頂いています。毎週末雪を求めてさまようスキー狂ばかりなのですが、ポール練習が思うように出来ないのが悩みのタネです。今後練習を積み都連の大会で上位を狙えるように頑張っていきたいと思っています。今後ともSATにお世話になると思いますが、宜しくお願い致します。



新登場
ポップジャック

スリム&ウォーム

POP JACK
DESCENTE

GORE-TEX × DOWN × thermo-Liner fabrics

DPD-6030

科学は、
ほくらに、
あつたかい。

ゴーグル

プライズ検定について

質問 最近、技能テスト1級の上にテクニカルプライズとクラウンプライズの二つの検定種目が設定されたようですが、この検定についておしえて下さい。

回答 SAT日より10号で、本連盟の井上、衛普及部長が、「プライズ検定を願みて、というタイトルで寄稿されたものを中心にお答致します。

スキヤーの質的傾向が、指導指向型、技術指向型、エンジョイ型等に分かれてきた事から、これらの多様化現象と将来を考えた場合、SAJの従来の検定規格では対応しきれない部分が出てきた事から、昭和57年度のSAJ検定規程改訂によって、1級の上にテクニカルプライズとクラウンプライズの二つのランクを設け、1級を分岐点として、指導者と技術者を明確に分離する事になりました。

このプライズ検定は、全日本スキー連盟で定めた検定規程に従って、各県連が行うもので、東京都スキー連盟の昭和57年度と58年度の実施結果は次のとおりです。

年度	テクニカルプライズ	クラウンプライズ
57	受検者 128・合格23名	受検者 6名・合格 2名
58	受検者 90・合格15名	受検者 7名・合格 1名

以上のように、受検者の中には指導員や準指導員取得の方も多く受検されており、指導者と技術者を明確に分けた検定内容での検定になっております。質問の中には、準指導員とテクニカルプライズ・指導員とクラウンプライズはそれぞれどちらが上手なのかというのがありますが、これは、比較対象の種目とその内容、

及び検目的が異なるので、これらの比較論は成り立たないと云われております。ただこのプライズ検定の合格者は、指導者の検定に合格したのではなくて、あくまでも技能検定に合格したものですから、さらに一層の自己技術の研鑽に励んでほしいと切望しています。

最後に今シーズン、昭和59年度のプライズ検定についてお知らせします。

◎テクニカル・プライズ講習検定会（2日間は講習）

昭和59年3月23日～25日 会場 車山高原スキー場

◎テクニカル・クラウンプライズ検定会

昭和59年4月7日～8日 会場 熊の湯スキー場

実施要項等については、本連盟のオールマナックによるか、本連盟事務局にお問合わせ下さい。

文責 SAT日より編集委員長 水木秀雄

編集後記

また新しいシーズンがやって来ますが、このSATよりも発刊以来12号目になり、会員各位から御愛読戴いての反響を嬉しく思っております。

本号では、第12回インタースキーの報告をはじめ、'84指導員・準指導員検定基準改訂についての解説や、フリースタイルスキーのワールドカップ参加報告など会員各位に興味ある内容と思われれます。更に'84行事日程および事務手続早見表の御活用を期待いたします。

尚、本年は東京都スキー連盟が、財団法人となって十周年になります。次号の13号は来年3月発行です。

御投稿お待ちしております。原稿締切59年1月中旬迄

SAT編集委員会

委員長 水木秀雄

委員 大槻 譲・中川捷一・染谷忠夫・田中実塚本哲夫・村上万里子

都連の皆様の
ホームゲレンデ



スイスダボス姉妹都市

東京都スキー連盟公認第1号スキー場

信州

菅平高原スキー場

今シーズンもよろしく
お願い申し上げます。

菅平観光協会

〒386-22 長野県小県郡真田町菅平 ☎(02687)4-2003(代)